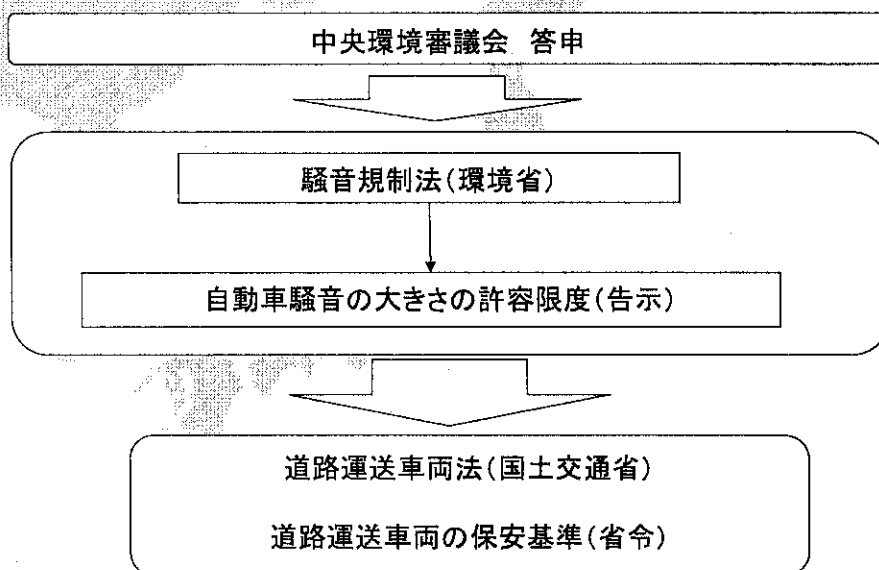


## 自動車騒音の現状等について

# 日本の自動車騒音規制の現状

1

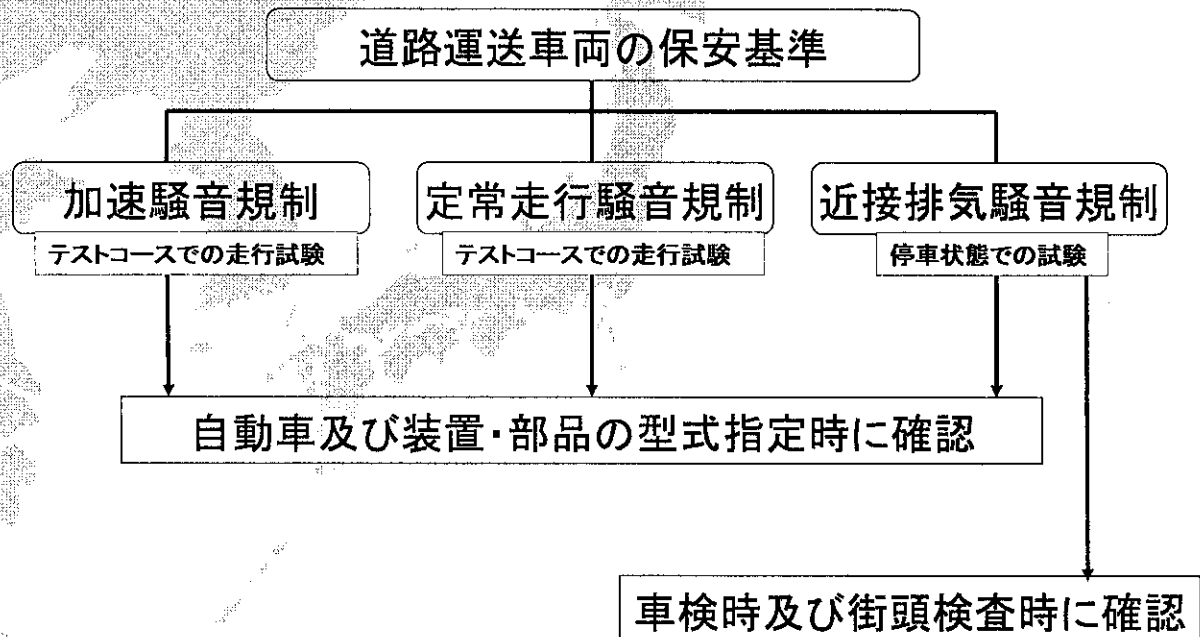
## 自動車騒音規制の仕組み



- ・加速走行騒音: 市街地を走行する際に発生する騒音
- ・定常走行騒音: 一定の速度で走行する際に発生する騒音
- ・近接排気騒音: 停車時にエンジン、排気管から発生する騒音

の3種類について規制

# 日本の自動車騒音規制の概要



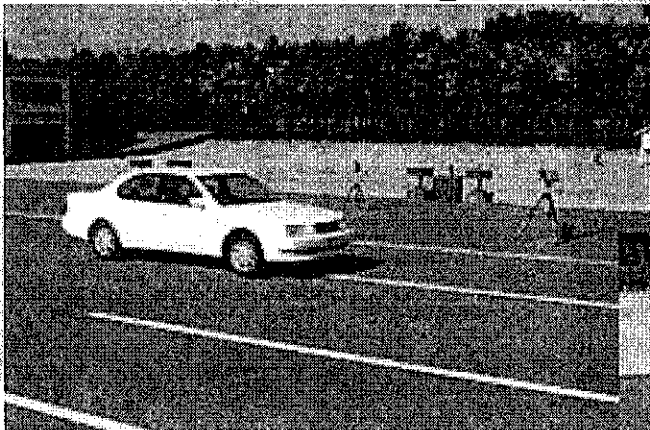
3

## 日本の自動車騒音測定法の概要(1)

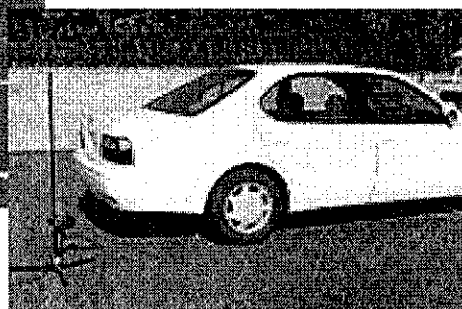
定常走行騒音: 50km/hの一定速度で通過した場合の騒音を測定

加速走行騒音: 50km/hで進入し、加速ペダルを一杯に踏み込み通過した場合の騒音を測定

近接排気騒音: 停止状態で排気管の出口に近接した位置で原動機の規定回転数からアクセルを急速に放した際の騒音を測定



定常及び加速走行試験の状況



近接排気騒音の試験の状況

# 日本の自動車騒音測定法の概要(2)

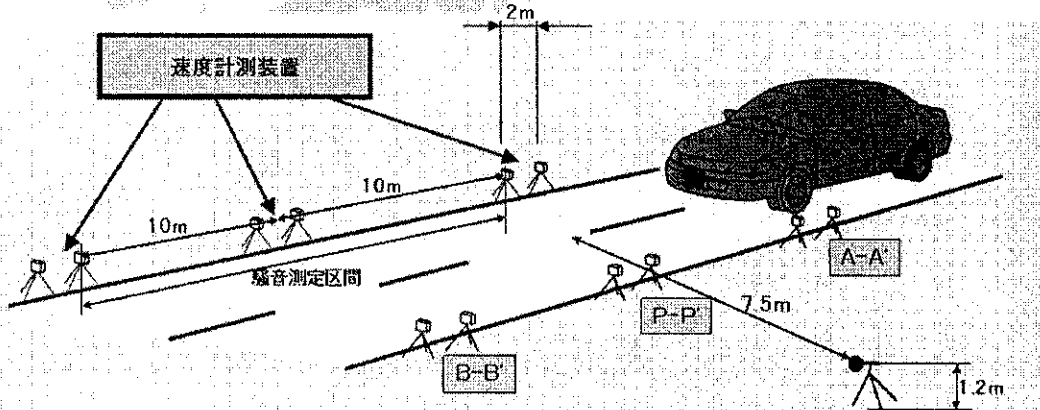
～定常走行騒音試験法及び加速走行騒音試験法～

## 騒音測定区間

- ・定常・加速走行騒音ともA-A'(入り口)からB-B'(出口)までの20m

## マイクロホンの位置

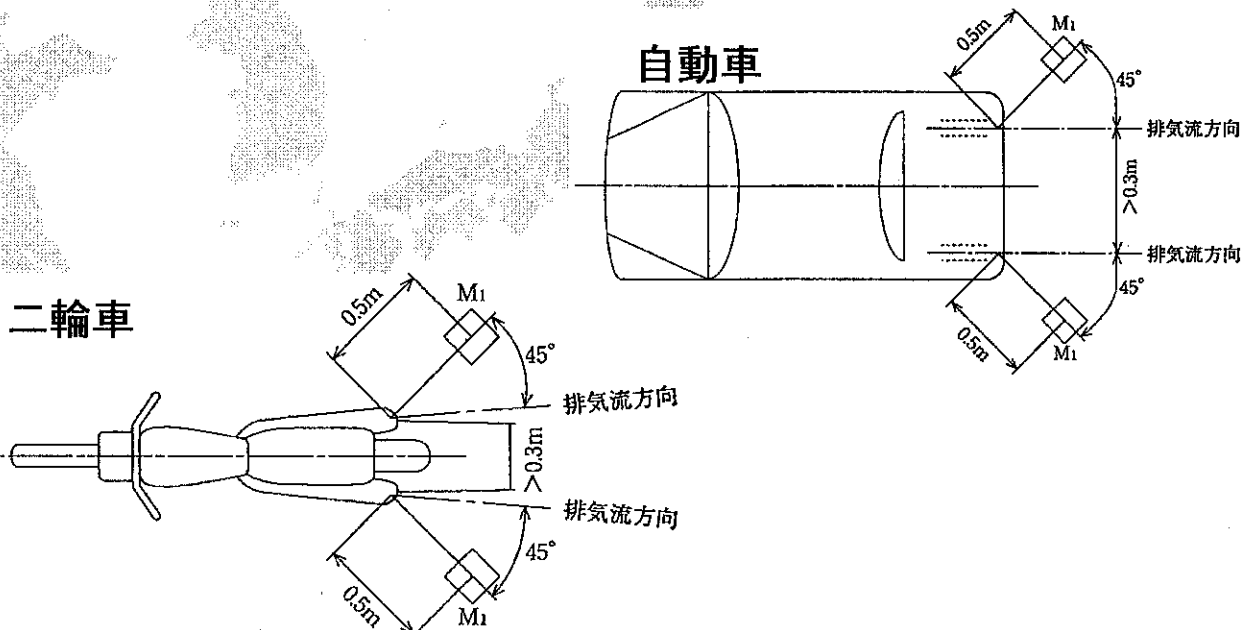
- ・定常走行騒音:P-P'の中心で走行路中心から7mで高さ1.2mの位置に設置
- ・加速走行騒音:P-P'の中心で走行路中心から7.5mで高さ1.2mの位置に設置



# 日本の自動車騒音測定法の概要(3)

～近接排気騒音試験法(ISO5130と同じ試験法)～

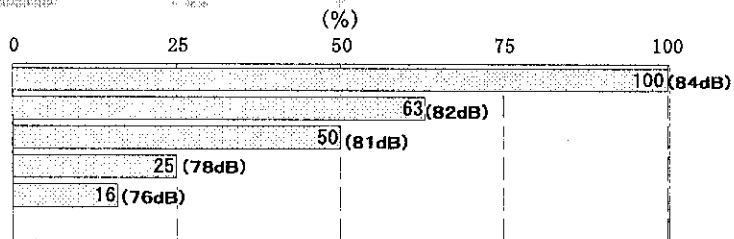
- ・最高出力時の75%の回転数の回転速度 $\pm 100$ (rpm)
- ・マイクロホンの位置は、M1かつ排気管の開口部中心高さ $\pm 0.025$ m



# 騒音規制の経緯(乗用車)

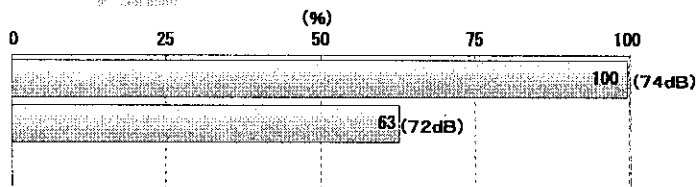
## ○加速走行騒音

昭和46年  
昭和52年  
昭和54年  
昭和57年  
10年(6人以下), 11年(6人超)



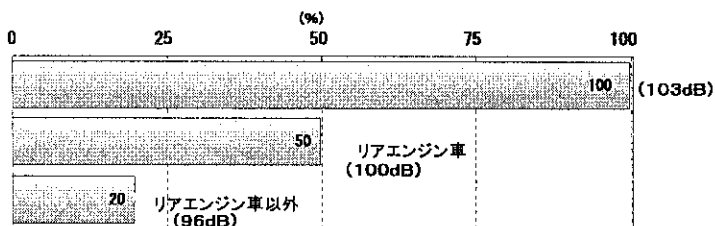
## ○定常走行騒音

昭和46年  
10年(6人以下), 11年(6人超)



## ○近接排気騒音

昭和53年  
10年(6人以下), 11年(6人超)



※規制値を音のエネルギーに換算し、初期規制値を100%とした。

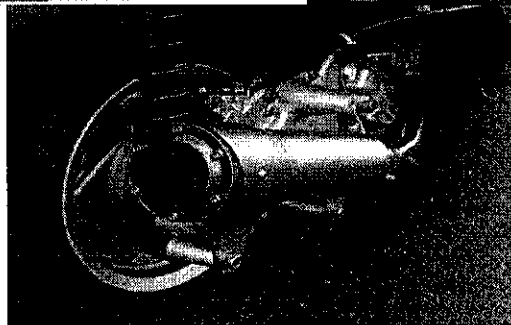
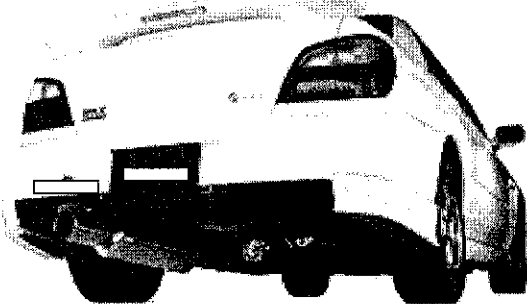
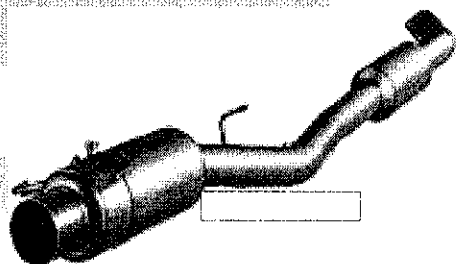
## 街頭検査・車検時の近接排気騒音測定の様子



街頭検査



車検  
(継続検査等)



交換用マフラーと装着車両の例